

開講科目名 / Course	生体代謝論	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 後期	
開講区分 / semester offered	後期	
単位数 / Credits	2.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	安部 眞佐子	
担当教員名 / Instructor	安部 眞佐子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	生命現象の基礎を支える生体分子の基本的な性質を理解する。体内での代謝を理解し、生体機能を分子レベルで説明できる力を身につける。栄養学の基礎知識を説明できる。	
到達目標	1. 解剖生理で学んだ生体分子の種類と役割を定着させる。 2. 食物成分の体内動態を個体レベルで理解し、健康維持増進のための栄養素のとりかたを包括的に説明できるようになる。	
DPとの対応	1. 確かな看護の力・技術力、2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力	
授業計画	01. 生化学を学ぶための基礎知識 02. 代謝と生体エネルギー 03. 糖質 04. 糖質代謝：エネルギー産生 05. 糖質代謝：その他の代謝 06. 脂質 07. 脂質代謝 08. タンパク質 09. タンパク質代謝 10. ポルフィリン代謝、異物代謝 11. 遺伝学の基礎知識、核酸の代謝 12. シグナル伝達 13. 栄養問題、健康日本21の中の食生活 14. 栄養の脂質 15. 栄養のたんぱく質 16. 栄養の炭水化物 17. ミネラル 18. 水溶性ビタミン 19. 脂溶性ビタミン 20. 個体レベルでのエネルギー代謝	
その他の授業の工夫	講義中に課題を課す。	
時間外学修	テキストで事前学習を行い、講義後には、配布プリント、テキスト、課題によって復習する。	
評価方法と評価割合	最終テスト 80% 講義ごとの課題提出と評価 20%	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[2] (医学書院) わかりやすい栄養学 (三共出版)	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	安部眞佐子：栄養指導の経験あり
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	生活習慣病の栄養指導をした経験から栄養についての素養を養えるように学習を組み立てる。	